

下野谷遺跡保存活用計画策定懇談会資料（抜粋）

下野谷遺跡と学校の取組

1. 国史跡指定を記念して

- (1) 国史跡指定記念のぼりの作成
- (2) 国史跡指定記念式典への参加

平成 27 年 3 月 22 日(日) 於：早稲田大学ステップ 2 2

2. 学校行事を通じた児童・保護者・地域への啓発

- (1)平成 27/28 年度運動会 全校ダンス「縄文体操」の実施
・やさしくアレンジした縄文体操を全校児童が踊る
- (2)平成 27 年度展覧会 テーマ「つなぐ ～縄文から未来へ～」
＜各学年の作品から＞

1 年「ドキドキ♡どき」 2 年「どんぐりさんのおうち」 3 年「土から生まれる」
4 年「化石発見!？」 5 年「ふしみの森の森の奥」 6 年「縄文土器」

＜全校共同制作＞

「竪穴式住居」（和紙を使ってカラフルに）

- (3)平成 28 年度学芸会 3 年生始めの言葉

縄文時代にタイムスリップ

～東伏見小の建つところは、大昔から人が住む歴史があるすごいところ～

3. 縄文の森の秋まつりへの参加 *校長が実行委員の一員に

- (1) 6 年生制作縄文土器の展示
- (2) ココスポ「縄文体操」ジョウモンズ
・メンバーに東伏見小児童も多数参加
- (3) 東伏見歴史館の一般開放
・下野谷遺跡コーナー
・明治・大正・昭和時代の民具や消火用具など

4. 学習への活用

- (1) 6 年社会 歴史学習 自給自足をしていた頃の暮らしと人々
*ほんの 1～2 時間ほどで通り過ぎる単元 ⇒ 今後、総合的な学習等を使い充実を
- (2) 3 年総合的な学習「昔の人々の暮らし」「地域にねむる下野谷遺跡」
・下野谷遺跡フィールドワーク
・東伏見歴史館から
・郷土資料室（西原総合教育施設内）を見学

5. 今後の展望

- (1) 3・6 年の学習活動の充実と各学年の学習との関連を模索
- (2) 郷土クラブの新設（下野谷遺跡のジオラマづくり、遺跡解説ガイドの作成等の活動を予定）
- (3) 東伏見歴史館の校内外に向けた活用方法の検討
①本校の学習素材として ②他校の郷土学習の資料室として ③一般開放資料室として
- (4) 下野谷遺跡公園 郷土のレガシーを一緒に創る